

## 台湾との強い絆

### 東日本大震災－台湾からの支援への感謝－

#### 台湾の素早い対応と反応

3月11日午後2時46分頃に発生した東北地方太平洋沖地震は、東北地方及び関東地方に未曾有の被害をもたらした。台湾では、その直後から、マスコミが大々的に報じた。また、地震発生直後には台湾の外交部長より見舞いの電話が当協会台北事務所代表にあり、台湾側より必要な支援は何でもするとの心強い言葉があった。また、同日中には、馬英九総統、呉敦義行政院長及び外交部長より心温まるお見舞の書簡が届けられ、同時に台湾側より30万台湾ドルの資金援助の申し出があった（その翌日には、被災状況の深刻さに鑑み、資金援助を1億台湾ドル（≒2.9億円）とする旨の連絡があった）。その後、台湾では、被災の状況がテレビのニュース番組を通じて24時間流れ続けた。

台湾の各界より日本への支援の申し出が殺到した。台湾各界からの義捐金を受け付ける台湾赤十

字は、1999年の台湾中部地震の際の各国赤十字からの義捐金の中で日本からの義捐金が8割を占めていたことを紹介し、今回はその恩返しをする機会だと台湾各界に訴えた。台湾からの資金援助の申し出は更に増えた。

14日には、台湾より緊急援助隊が派遣され、訪日中、宮城県内で懸命な捜索活動が行われた。緊急援助物資は、14日よりぞくぞくと日本に届けられその量は560トンに達した。

以上のような、台湾各界からの支援に対し、当協会台北事務所は、「台湾各界から寄せられた大変暖かいお見舞いや御支援は、大変勇気づけられることであり、改めて心から感謝申し上げます。」とのメッセージを出した。

なお、台北事務所においては、全所体制をとり、在留邦人に対する日本の被災に関する情報提供、安否確認及び台湾側からの支援受入れへの対応を行った。



台北事務所の入り口にあった花束



捜索活動を懸命に続ける台湾の援助隊（3月15日、於：宮城県）

## 台湾各界の地震に対する極めて高い関心

台湾からの支援は、極めて大規模となった。特に18日夜には、台湾赤十字と台湾の17のテレビ局が協力し4時間以上にわたるチャリティーイベントを開催し、それが17のテレビ局全てで生中継された（このようなチャリティーイベントは、海外支援について行われるのは極めて異例とのこと。また、チャリティーイベントのテーマソング「Believe：相信希望」のイメージビデオには馬英九総統他、有名歌手が出演）。このテレビには馬英九総統夫妻等の当局の要人、著名歌手、芸能人、

台湾駐在日本企業の責任者等が代わる代わる登場し、募金を訴えた。その時間内で受け付けた義捐金は7.9億元(≒21億円)に昇った。なお、同チャリティーイベントでは、1999年の台湾中部の震災の際の日本の援助、2009年の台風災害での日本の援助等を紹介しながら支援を訴えた。特に台風災害の際に大きな被害を受けた「小林村」の住民は、その際に日本から提供されたヒマワリに勇気づけられたとして募金に訪れ、チャリティー会場の観衆に感動を与えた。

4月15日現在で、台湾の官民合わせた義捐金の額は140億円を突破した。

台湾からのメッセージ



(頑張れ！日本の平安を祈ります。台湾と貴方たちは一緒にいる！)

## 総理から台湾へ感謝のメッセージ

このような台湾からの支援に対し、総理のメッセージを当協会のホームページを通じ配信した。この災害を通じ、改めて日本と台湾の絆の強さを再認識することとなった。

# 絆

Kizuna - the bonds of friendship

平成 23 年 4 月 11 日

巨大な地震と津波に見舞われ、1万3千人以上の死者を出した東日本大震災から一ヶ月が経ちましたが、未だに1万4千人以上が行方不明であり、約15万の方々が、今も避難生活を強いられています。我が国の国民だけでなく、外国人の方も含め、今回被災されたすべての方と、そのご家族の皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

福島第一原子力発電所の状況については、現在、事態の収束のために全ての資源を動員し、一日も早い安定化に向けて努力しているところです。

大震災からの一ヶ月間は、日本にとって極めて厳しい期間でした。しかし、同時に、日本は世界と共にあることを、改めて実感し、感謝する期間となりました。

これまで130以上の国・地域、40近い国際機関、数多くの非政府組織、そして世界中の方々からお見舞いをいただき、さらには義捐金などを通じて支援と連帯を示していただきました。様々な国・地域から救助隊員の方々が駆けつけ、いち早く被災地で救援活動を行い、食料・医薬品・毛布等の物資を届けてくださったことは、被災者を心から勇気づける支援でもありました。また、被災地の復興を願い、遠い国の子供たちが一生懸命折ってくれた千羽鶴も届けていただきました。

このような世界中からの支援に対し日本国民を代表して心から感謝申し上げます。

台湾からは、地震発生直後から、28名からなる救援隊の派遣、総量約400トンの支援物資の提供、多額の義捐金の申し出などのご支援、また数多くの方々から励ましのメッセージをいただきました。台湾の皆様から示されたこのような心と心の絆に深く感謝申し上げます。

日本は必ず再生し、復活し、さらに素晴らしい国になります。国際社会が示してくださった温かい激励と連帯に応えるためにも、その新生への道を歩むことこそが、我が国の責務であり、最高の返礼であると考えています。そして、日本国民の底力と国際社会の温かいご協力により、それは必ずできると、私は確信しています。

そして、世界の皆様からいただいた温かいご支援に対し、国際貢献という形で、必ず恩返しをしたいと思定めています。

そのためにも、私は、復興に向けて全力を尽くして参ります。

内閣総理大臣

菅 直人

まさかの友は真の友